

令和2年3月発行

eco サポート

(公財)山口県ひとづくり財団

環境学習推進センター情報誌 第44号

Contents

- 01 第2回 希少野生動植物種保護支援員研修会
第15回 人づくり・地域づくりフォーラム in山口
- 02 令和元年度環境活動団体等交流会
環境学習講座のお知らせ
- 03 山口県環境学習指導者 新規登録者
環境学習指導者派遣事業のご案内
- 04 自然観察指導員講習会のご案内
環境活動団体支援事業の募集案内

令和元年度 第2回

希少野生動植物種保護支援員研修会を開催しました

セツブンソウの 保護活動についての学習と観察会

2月9日(日) 11:00~15:00

錦ふるさとセンター

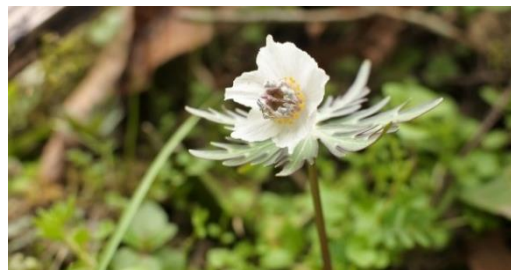
セツブンソウ自生地(岩国市錦町広瀬)

令和2年2月9日(日)、岩国市錦町広瀬で開催した研修会には、県内各地から多くの支援員の皆さんに参加していただきました。

午前中は、岩国市錦町広瀬で、山口県唯一のセツブンソウの自生地を発見し、地域の人達と保護活動に取り組んでおられる古市節分草保存会の林節司会長から、講義を受けました。

地元の方々と公開方法について検討し、マイカーによる渋滞、駐車場の確保、ゴミ・トイレ問題等の懸念と赤字ローカル線である錦川清流線の利用向上、地元商店街との連携等を考慮し、錦川清流線の利用者のみへの公開としたこと、また、セツブンソウは、高さが10センチ程度の小さな植物であるため、他の大きな植物と同様に温暖な時期に咲くと、陰になって光合成が出来ず競争に負けてしまう、寒い時期に花を咲かせるスプリング・エフェメラルの一種であることなどの紹介がありました。

午後は、セツブンソウの自生地に移動し、自生地の環境や、花の特徴等についての説明を受けながら、観察会を行いました。参加者は、カメラを手に、見学路が整備された自生地内を巡回しながら、白く、けなげなセツブンソウの美しい姿に見入っていました。



第15回 人づくり・地域づくりフォーラム in 山口

令和2年2月22~23日、山口県セミナーパークで開催された「人づくり・地域づくりフォーラム in 山口」には、全国各地から850人の参加がありました。環境保全部会では、次の4つの実践事例の発表がありました。

フードロスの削減と食に困る人がいない持続可能な社会を目指して ～フードバンク活動の実践と課題～

NPO法人フードバンク山口 理事長 今村 主税氏

黒木(くるち)と三線で綴る ～この島の謡(うた)と文化と未来の話～

くるちの杜100年プロジェクトin読谷 筆頭賛同員 平田 太一氏

町民みんなで築いたごみゼロ・ブランド ～徳島県上勝町の挑戦～

NPO法人ゼロ・ウェイストアカデミー 理事 藤井 園苗氏

芸術高校生による消えた天然記念物

「葡萄櫨の原木」の再発見と保護

学校法人りら創造芸術学園りら創造芸術高等学校 教頭 鞍 雄介氏



自然環境の保全から、食品ロスやごみ問題など、バラエティに富んだ発表で、様々な観点から意見交換することができ、参加者にとって、今後の取組の参考となる有意義な発表会となりました。

令和元年度環境活動団体等交流会を開催しました！

開催日 1月19日(日) 13:30～16:00
場 所 山口県セミナーパーク 研修室

環境活動に取り組んでいる団体等が、活動状況や課題等について情報を共有し、課題解決に向けた方途について意見交換を行うことで、活動を一層促進することを目的に、令和2年1月19日(日)、環境活動団体等交流会を開催しました。

- ①環境活動団体 ②環境学習指導者
③環境学習関連施設 ④行政の代表

の4名の方に、それぞれの立場からの取組状況を発表していただきました。

①山口県自然観察指導員協議会 会長 大田和彦氏
「「みどりの風」を絶やさぬように」

②環境パートナー 神保達也氏
「自然に親しむ環境学習」

③国立山口徳地青少年自然の家 次長 中村慶治氏
「青少年教育施設における環境教育」

④宇部市SDGs推進センター センター長 小桧山大介氏
「SDGsとは何か～宇部市の取り組みから～」

参加者は説得力のある説明に耳を傾け、多くの質疑が出され、活発に意見交換が行われました。

それぞれの立場で共通の目標に向けて活動に取り組んでいるながら、互いに交流する機会の少ない方々が一堂に会して、課題解決に向けた議論が行われ、有意義な交流会となりました。



大田氏



神保氏



中村氏



小桧山氏



環境学習講座のお知らせ



4月26日(日)
10:00～15:00

竜王山 春の自然観察会

竜王山に自生する貴重な植物等を観察しませんか

山陽小野田市本山公民館・竜王山

一般県民(中学生以上) 30人程度(応募者多数の場合は抽選)

講義

竜王山の自然と、
その保護・保全活動について

自然観察

竜王山に自生する
春の植物等の観察会

今後の予定

詳細が決まり次第、ホームページ「環境学習のひろば」に掲載するとともに、毎月お届けしていますメールマガジンやフェイスブックでお知らせします。

一般

秋吉台 春の植物観察会

開催日 5月10日(日)

場 所 秋吉台青少年自然の家(美祢市)

内 容 秋吉台に自生する植物(春の草花)の観察

親子

ときわ公園で学ぶ「私たちの環境と未来」

開催日 6月7日(日)

場 所 ときわ公園

内 容 動植物の生態の観察等

親子

親と子の水辺の教室～山口市木崎川～

開催日 5月24日(日)

場 所 県健康づくりセンター・木崎川(山口市)

内 容 水生生物による水質調査

一般

持続可能な地域づくり研修会

開催日 6月21日(日)

場 所 山口県セミナーパーク 研修室

内 容 生きもの元気、子ども元気、漁師さんも元気な中津の水辺環境を未来に

指導者バンクの新規登録者

令和元年度から次の方々が新たに環境学習指導者に登録されました。指導者バンク登録者(186名)については、ホームページ「環境学習のひろば」をご覧ください。

環境アドバイザー

池辺 祐介	希少動物の保全、飼育施設における環境保全への貢献 など
板垣 多樹郎	地球温暖化・地球環境問題、持続可能な開発目標 (SDGs) など
伊藤 幸治	樹木や虫、野鳥などの案内、子どもに環境の大切さを共感させること など
木原 一郎	体験学習法を使った環境意識の醸成プログラム など
草野 隆司	「樹に学ぶ」をテーマとした講演会、木工クラフト など

田部 一則	地球温暖化・地球環境問題、異常気象に伴う防災対策 など
中野 裕子	余暇活動・ライフワークバランス、ネイチャーゲーム など
林 節司	セツブンソウ自生地での保全活動、薬草観察と利用方法 など
藤川 将之	秋吉台科学博物館内外における講演多数
藤本 賢司	CSR、CSVと環境、SDGsと環境経営 など

環境パートナー

荒瀬 佳代子	動物と自然とのかかわり合い、環境とリサイクル など
一瀬 裕生	リサイクル素材を使ったジャグリング道具作り・遊び方の指導
伊藤 絹江	ネイチャーゲーム、環境負荷軽減実践 など
伊藤 幸治	樹木や虫、野鳥などの案内、子どもに環境の大切さを共感させること など
大田 和彦	水生昆虫による水質調査、カタクリ、セツブンソウの観察指導 など
木原 一郎	体験学習法を使った環境意識の醸成プログラムなど
白石 謙治	カヌー・カッター研修指導 キャンプ指導、茶摘・製茶体験指導 など
水津 真澄	食ロス 調理実習 など
住岡 聡江	キャンプ・カヌー・カッター・Eボートの指導 木工クラフト など
徳光 弥生	森林の植生、森林の有する多面的機能についてのガイド

富田 誉子	AFPY カヌー・Eボート研修の指導、木工クラフト など
中野 裕子	自然体験の中での自然と人間の共生、ネイチャーゲーム など
中村 義博	樹木講座 森林セラピー体験、樹木観察会 など
納富 節子	シェアリングネイチャーの企画、指導 など
福本 太一	森林林業、森林整備体験
藤本 賢司	CSR、CSVと環境 SDGsと環境経営 など
前場 正信	野遊びを楽しみながら生き残る知識を広める ブッシュクラフト など
元永 瑞穂	リサイクル素材を使ったジャグリング道具作り・遊び方の指導
柳 和文	リサイクル素材を使ったジャグリング道具作り・遊び方の指導
吉村 慎也	動物と自然とのかかわり合い、環境とリサイクル など

山口県環境学習指導者派遣事業のご案内

県民の皆様の「環境の保全」についての理解を深め、地域における取組を促進するため、学校や民間団体などが県内各地で行う講演会や体験学習会などに、環境学習指導者を派遣します。

講師派遣の流れ

講師派遣希望者

↓ 派遣申請

環境学習推進センター

↓ 派遣要請

環境学習指導者

講師派遣費用はセンターが負担します

講演会、体験学習会等の主催者・代表者は、開催日の30日前までに、派遣申請書に必要事項を記入の上、環境学習推進センターに申請してください。

講師派遣希望者から提出された申請書を審査し、講師派遣の可否を申請者に通知します。

環境
アドバイザー

環境
パートナー

こどもエコクラブ
アドバイザー

環境学習指導者が、環境学習会等に派遣されます。

詳細は、環境学習推進センターにお問い合わせいただくか、ホームページ「環境学習のひろば」をご覧ください。

「自然観察指導員養成講習会」が山口で開催されます

9月19日土・20日日

山口県秋吉台青少年自然の家

《(公財)日本自然保護協会の案内》

「自然観察会」というと、どういうものをイメージしますか？自然観察で、私達が見たいのは花びらの姿形や美しい鳥の声だけではありません。

自然がなぜ今の環境になっているのか、今後どうなるのかといった「自然の生き方・しくみ」、自然の本来の姿に迫る視点を得て欲しいと思い、野外実習と講義を1泊2日に凝縮しました。自然保護の考え方や一歩の踏み出し方、自然観察の具体的なテーマ設定のコツなどの自然の「みかた」が身につきます。

1978年から変わらぬ人気を博す本講習会は550回以上開催し、3万人以上が登録し仲間になっています。自然保護や環境問題に関心のある方、野外活動に関わる方、学校教育関係者、子育て世代の方におすすです。

すでに活動をされている方からも「目からウロコ」と好評です。

山口県での開催は5年に一度程度です
この機会にぜひご受講ください！



＜自然観察指導員とは？＞

「自然観察からはじまる自然保護」を合言葉に、自然観察会を開いたり、日常や仕事を通して自然の価値に気付くきっかけを作る、自然を守る仲間をつくるリーダーです。

ボランティアで活動する方、ガイドで生業として活動する方、職場で自然を共有する技術を活用したり、会社のCSR部で自然保護を実践する方もいたり活躍の場は様々です。

一人一人の出来ることはたとえ小さくても、想いを持った人が全国各地で少しずつでも活動することで、たくさんの仲間をつくるができます。そして、仲間の想いが集まれば、社会を変える大きな力になります。自然を大切にしたい！その想いがある方は自然観察指導員として一緒に活動しましょう！

環境活動団体支援事業の募集案内

環境活動団体が実施する自然環境保全等の活動を通じて、子どもたちや地域住民などが、自然の素晴らしさや大切さを実感し、自然共生型の地域づくりを推進するとともに、環境に配慮した行動がとれる子どもたちや県民を育成することを目的として、団体の事業に必要な経費の一部を助成します。

助成対象となる団体

- 1 県内に活動拠点を有し、かつ県内で活動していること
- 2 組織の運営に関する規定を有していること
- 3 活動歴が1年以上であること。ただし、任意団体が法人化した場合は、法人化前の活動期間を含む
- 4 政治的、宗教的及び商業的宣伝活動を行っていないこと

助成対象となる事業

次のいずれかに掲げるものであって、特定のフィールドで将来にわたり継続的に行われるものを対象とします。

子ども（高校生以下）の参加者が原則として5名以上であり、年間2回以上の実践活動（環境学習を含む）を行うものとします。

- 1 野生動植物の保全等
- 2 自然環境の保全・再生
- 3 自然とのふれあい事業



○詳細はホームページ等をご覧ください。

※助成事業に応募する団体は、5月13日(水)までに申請書を環境学習推進センターに提出してください。



(公財)山口県ひとづくり財団 県民学習部 環境学習推進センター

〒754-0893 山口市秋穂二島1062(山口県セミナーパーク内)

☎ 083-987-1110

☎ 083-987-1720

✉ kankyo.c@hito21.jp

<https://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/learning/index.php>

環境学習推進センターHP



環境学習に関する様々な情報を提供し、県民の皆様の環境学習をサポートしています。